

報道関係各位

## 第3回山形県農地集積・集約化プロジェクト会議開催 ～地域が主体となった人・農地プランの実践に向けて～

県内においても、農業者の減少と高齢化が急速に進む中、本県の基盤産業である農業を持続的に発展させていくためには、担い手への農地の集積による効率的な農業経営の実現を目指す「人・農地プラン」の着実な実践が重要です。

この「人・農地プラン」の実践に向けた取組みをオール山形で支援するため、令和4年2月に標記会議を立ち上げました。

今般、第3回会議を下記のとおり開催しますので、取材くださいますようお願い申し上げます。

### 記

- 1 日 時 令和4年6月20日(月) 13:30～15:30
- 2 場 所 山形県庁講堂（一部オンライン併用）
- 3 参集範囲 市町村農業委員会の代表、市町村の代表、JA中央会、農地中間管理機構、農業会議、土地改良事業団連合会、東北農政局、県（農林水産部・総合支庁） 約30名
- 4 内 容（予定）
  - (1) アクションプラン等の一部更新について
  - (2) アクションプランの進捗状況について
  - (3) 農地関連法の改正について
  - (4) 今後のスケジュールについて

### 5 その他

取材いただく場合は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク着用のうえ御来場ください。

#### 【第2回】(前回)

- 日時：R4.3.16 13時30分～
- 内容：アクションプラン策定  
令和4年度の取組み

#### 【第3回】(今回)

- 日時：R4.6.20 13時30分～
- 内容：進捗状況の共有  
農地関連法の改正

#### 【第4回】(予定)

- 日時：R4.9月頃
  - 内容：進捗状況の共有  
次年度以降の支援方針
- ※同時期に優良事例発表会を予定

#### 【問い合わせ先】

農林水産部農業経営・所得向上推進課  
課長補佐（総括・構造政策担当） 松田 貞子  
TEL：023-630-3108  
報道監 農林水産部次長 森谷 健

## 現状・課題

### 農地の集積・集約化

○ 生産性の向上・競争力の強化には、地域の中心的な担い手への一層の農地集積・集約化が重要であり、実現のためには、**地域の話合いにより実質化を進めた「人・農地プラン」の着実な実行が必要**。

○ 平場の水田地帯では、農地中間管理事業の活用が一巡した地域が多い。一方で、中山間地域や畑・樹園地での活用は十分でなく、農地中間管理事業を活用しながら耕作条件を改善できる農地整備事業を実施するなど、**農地中間管理事業を推進する必要**がある。

〔第4次農林水産元気創造戦略「担い手への農地集積・集約化促進プロジェクト」より〕

### 人・農地プラン

- ・ プランの趣旨・目的の理解が不十分
- ・ フォロー体制が不十分
- ・ プランの完成度に差がある
- ・ 話合いの進め方がわからない

### 担い手の確保

- ・ 担い手が不足
- ・ 新規就農者や多様な担い手への支援が不十分

### 農地中間管理事業（農地バンク）

- ・ 手続の煩雑さ、条件の制約で利用が進まない
- ・ メリットの周知が不十分

## 個別の課題

### 樹園地

- ・ 経営規模拡大が困難
- ・ 水田に比べ、集積（継承）が円滑に進まない

### 中山間地

- ・ 耕作が放棄される農地が増加
- ・ 耕作条件不利地が多く受け手がいない

## 基本方針

### 人・農地プランの実行による集積・集約化の推進

市町村・農業委員会等による人・農地プランの地域の話合いの強力な推進及びマッチング活動を支援するとともに、県内全域で農地中間管理機構の活用を促進し、担い手への農地の集積・集約化を推進する。

成果指標・農地の集積率

年度	R4	R5	R6
目標	80%	85%	90%

集積率(R2年度末)：67.5%

### 持続的な農地の有効活用

高齢化による離農、担い手となる人口の減少等により耕作が放棄される農地を解消し、農地の継承や有効活用を図り、持続可能な生産体制を実現する。

## 施策・事業の展開方針

### I 人・農地プランの着実な実行

#### 1 人・農地プランの推進体制の充実

- ・ 人・農地プラン実行に向けた取組みを円滑に実施するため、山形県農地集積・集約化プロジェクト会議を設置し、具体的な支援施策を検討
- ・ 関係機関連携による地域伴走型の支援により、人・農地プランの実行に向けた地域の話合いの継続的な実施や目標地図の作成を後押し
- ・ 話合いマニュアルの作成、話し合いを円滑に進めるファシリテーターの育成や優良・先進事例の横展開等を通じた、県内全域における話合いの加速化

#### 2 担い手の育成・確保

- ・ 動機付けから就農・定着、経営発展までの各段階に応じたきめ細やかな支援による、意欲ある新規就農者の育成・確保
- ・ 担い手の生産力・収益力向上及び経営発展に向けた取組み支援による、地域農業を牽引する中心経営体の育成
- ・ 小規模経営体や女性農業者などの多様な経営体に対する発展の状況や取組みに応じた支援による、地域農業の持続的な発展の後押し

#### 3 農地バンクの活用促進

- ・ 市町村や農業委員会等による地域での話合い、マッチング活動を支援するとともに、県内全域での農地バンク制度の活用を促進
- ・ 中山間地域や畑・樹園地など担い手への集積・集約化が遅れている地域で耕作条件を改善できる農地整備事業等の実施に併せ農地バンク制度の活用を促進

### II 個別課題の解決に向けた取組みの強化

#### 1 樹園地の継承支援

- ・ 果樹生産地の代表者等による検討部会の立上げ、現地検討会を通じた樹園地の継承課題の把握による円滑な継承に向けた方策の検討

#### 2 中山間地の農地保全・遊休農地等の有効活用

- ・ 中山間地における再生見込みのない遊休農地等の有効活用方法の検討による、持続可能な生産体制や中山間集落の維持の方策検討